RITSUMEIKAN

2013年度立命館大学理工学研究所学術講演会

ビッグデータ分析のための機械学習研究

～現状と将来展望～

NTTコミュニケーション科学基礎研究所
機械学習・データ科学センタ 上席特別研究員

上田 修功氏

上田 修功氏 略歴

1982年 大阪大学 工学部通信工学科卒業
1984年 同大学院 通信工学専攻修士課程修了
1984年 日本電信電話公社(現NTT)横須賀電気通信研究所入所
1991年 NTT コミュニケーション科学研究所 主任研究員
1992年 博士（工学）、大阪大学
1993年-1994年 米国Purdue大学客員研究員
1998年 NTT コミュニケーション科学研究所 特別研究員
2003年 NTT コミュニケーション科学基礎研究所 知能情報研究部長
2006年 同研究所 協創情報研究部長
2010年 同研究所 所長
2013年-現在 同研究所 機械学習・データ科学センタ　上席特別研究員
国立情報学研究所客員教授
京都大学大学院情報学研究科連携教授
電子情報通信学会情報論的学習理論と機械学習研究会(IBISML)
専門委員長

2013年12月16日(月)

開場●17:30　開演●18:00～19:30

会場●立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
ローム記念館　5階 大会議室

アクセス　JR南草津駅から近江鉄道バス「立命館大学」下車（約15分）

参加無料

近年、世界中で想像を超える勢いでデジタルデータが生産・蓄積されており、これら膨大かつ多様なデータ（ビッグデータ）から如何に新価値を生み出すかが研究面でもビジネス面でも重要視されています。本講演では、ビッグデータ分析のための基盤研究、特に、統計的機械学習技術に焦点をあて、研究分野の現状について分かりやすく解説し、将来展望についても言及します。

お問い合わせ先●立命館大学 リサーチオフィス（BKC） Tel:077-561-2631 Fax:077-561-2633　E-mail:rikouken@st.ritsumei.ac.jp